

## 2006 年度 小委員会活動成果報告

(2007 年 2 月 8 日作成)

小委員会名	衝突・衝撃問題小委員会		主 査 名：野中泰二郎 就任年月：2004 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 応用力学運営委員会		委員長名：和田 章 主 査 名：竹脇 出
設 置 期 間	2004 年 4 月 ~ 2008 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	超高層建物、エネルギー関連施設、化学プラント、公共性の高い建物などの重要な構造物が自然災害、事故、あるいは人為的攻撃により飛来物の衝突・爆破等の衝撃的な過酷荷重を受けた場合の構造物の耐衝突・耐爆性能の評価法を構築し、有効な防止対策を検討する。		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無		
	野中泰二郎(中部大) 橋英三郎(阪大) 井元勝慶(テラバイト) 大野友則(防衛大) 河西良幸(前橋工大) 上林厚志(竹中工務店) 世戸憲治(北海道学園大) 坪田張二(鹿島建設) 中山昭夫(福山大) 西田明美(原研) 濱本卓司(武蔵工大) 原田耕司(西松建設) 向井洋一(奈良女) 和田章(東京工大) 藤掛一典(防衛大)		
設置 WG (WG 名：目的)	衝突・衝撃問題検討WG： 衝突・衝撃問題を項目別に分け、具体的な事例や、資料調査を行い、小委員会の活動内容の密度をより高める。		
2006 年度予算	110,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回(年度内計画を含む) 2006/7/25, 9/8, 11/6, 2007/ 3/19
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	1. PD：重要構造物の耐衝突・耐爆性能評価と防止対策 参加者数 94 名 『構造部門(応用力学)パネルディスカッション資料：同上』
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 活動計画：「最近における、構造物への衝突あるいは爆破事故などの事例調査を行う」については委員からの多くの報告を受け有用な知見を得た。80% 2. 活動計画：「衝突・爆破時における荷重の評価、新しい耐衝突・耐爆構法、S 造、RC 造に対する衝突解析に関する討議」については 70% 3. 活動計画：「2006 年度日本建築学会大会においてパネルディスカッションの開催を企画する」については大会研究集会において実施し、準備した配布資料は完売され、また PD 会場においては熱心な討議がなされた。 100%
委員会活動の問題点・課題	要望：遠隔地からの委員会参加が可能な TV 会議システム(安価で簡便なもの)を、情報関連の委員会で開催していただきたい。